



優れた、より良い福祉コミュニティをめざして

ふれあいネットワーク

まほろば

社協広報

第45号



写真 小坂区防災訓練の様子

住民主体の防災 ワンちゃんたちも参加しました

8月30日、各地区の自主防災会による避難訓練がおこなわれました。

災害救助犬のデモンストレーション、煙道避難訓練、防災テント張りの訓練、災害備品の勉強会等、各地区ごとにいろいろな防災訓練の取り組みが展開されました。

(防災への取り組みについて詳しくは3・4ページへ)

- まほろばトピックス～よもやま話～…… 1・2・5
- 特集「災害に備えて」～各地区の取り組み～… 3・4
- 平成21年度 山形村社会福祉協議会会費納入結果… 6
- 共同募金運動にご協力ください…………… 7



デイサービス通信 7

デイサービスセンターいちいの里での、この夏の行事を中心に紹介します。

6月には落語会を開催しました。艶のある唄の後は、皆さんからのお題をもとに、職員が川柳を詠みました。罰ゲーム



の仮装に会場は大いに盛り上がりました。

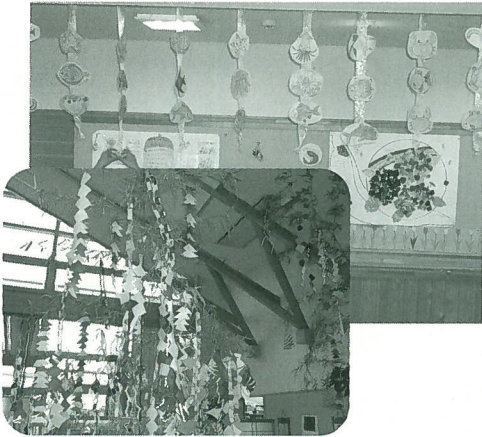
7月中旬から飾りつけしていただいた笹飾りは、8月には素敵に仕上がり、皆さん思い思いに「願い事」を書かれていました。

また、8月には、夏祭りを開催しました。射的や金魚すくいなどの、お祭りならではの催し物に皆さん久しぶりに童心に戻り、熱心に参加されていました。

この他にも、山形保育園の園児の皆さんの訪問や、夏休みを利用して、梓川高校の生徒さん

の訪問もありました。どちらの訪問も歌の披露があり、皆さん熱心に聴き入っていらっしゃいました。

季節は秋。皆さんに楽しく過ごしていただけるような行事を、これからも提供してまいります。



最近のイベント

- 6月 ● 落語会
- 誕生日会
- 7月 ● 七夕飾り
- 誕生日会
- 8月 ● 夏祭り
- 誕生日会

これからのイベント

- 9月 ● 避難訓練
- 10月 ● 運動会
- 12月 ● クリスマス会

※毎月誕生会行います

「奉仕の心で生き生きと…生きがいデイサービス」

閉じこもりを予防し、高齢者の方々が生き生きと笑顔の多い毎日が送られるよう、生きがいデイサービスでは、さまざまなレクリエーションや運動、催し物を企画し活動しています。

集い、楽しい時間を共にして行く中で、「人の役に立ちたい」と考えられる方々が出てきました。そこで、皆で相談をしコミュニティハウス建部の里周辺の草むしりへとつながりました。汗を流し一生懸命にお手伝いをした後に、「ありがとうございます」と一言。相手の感謝の言葉に、嬉しい気持ちでいっぱいとなります。

奉仕の心はつながり、今では「手作りかるた」に取り組んでいます。このかるたは、皆が出来上がりを楽しみにしていることはもちろん、地域の子どもが集う場所に寄贈し喜んでもらいたいという目的があります。手にした子どもたちにも、奉仕の心と喜びが届きますよう、生き生きと活動に励んでいます。



フランス鴨って、なんだろう？



4月から飼育をはじめているフランス鴨について、地域の方にも知ってもらおうと9月13日に「フランス鴨ってなあに？」と題して説明会・試食会をおこないました。

松本大学の尻無浜准教授より、どうして山形村でフランス鴨を育てているのか、なぜフランス鴨なのか、障害者就労など飼育の背景についてのご説明がありました。学生や当事者からは、これまでの山形村での取り組みや飼育の感想について発表していただきました。



その後、フランス鴨を使った料理や、トマトケチャップを使って調理したパスタにブルーベリーボールといった、障害者が飼育や摘み取りなどに関わってきた食材の試食会を行いました。

エサやりや小屋掃除等の飼育には、「共に生きる」を考える会、地域の方々、松本大学や信州フランス鴨の会など、多くの方が関わってくださっています。

現在、建部の里の小屋には今年度第2陣の雛たちが来ています。

この企画に興味のある方、協力してくださる方は、是非お問い合わせください。



お問い合わせは
山形村社会福祉協議会事務局
☎97-2102 まで



お知らせ お子さまと一緒に過ごしてください！ 親子でふれあい イベントで交流

平成21年度 山形村福祉のつどい

12月12日(土) 午後1時スタート
デイサービスセンター いちいの里

入場無料



▲昨年度福祉功労者表彰の様子

- ◆福祉功労者表彰
- ◆クリスマスコンサート (第1部・第2部)
- ◆授産商品販売コーナー (予定)
- ◆ポップコーン・アイスクリームなど(有料)

詳しくは後日チラシにてお知らせします



特集

災害に備えて～各地区の取り組み～

小坂区自主防災会学習会開催

家族・近隣・地域の連帯感・絆を深め、自助と共助の意識を高めよう!

去る7月31日、小坂生涯学習センターで小坂区自主防災会学習会（主催：小坂自主防災会 共催：山形村社会福祉協議会）が開催されました。今回は、「わが家と地域の防災、はじめの一步」と題して、市民防災ラボ代表の玉木貴氏の講演会が開かれました。防災対策などの基礎知識を分かりやすく解説していただくとともにわが家・わが地域にあった危機管理の必要性について講演されました。

玉木氏は、日本で一番頻度の多い災害は、地震ではなく水害であることを説明され、多くの人に災害＝地震という固定概念があることを指摘しました。また、わが家や地域に合った対策を考えずに他人任せの判断をすることや備えをすることは失敗の元であるとお話しされました。災害時に市民に求められるものは「自立自助」であり、公助はどうにもならない人への最後のセーフティネットであることもお話しされました。

阪神淡路大震災から14年が過ぎ、市民の防災意識は次第に低下してきたと言われていています。各地で地震や水害による被害がでていますが、いつ起こるか分からない災害に対して自助と共助の意識を高める必要があります。最終的に自らのいのちを守るためには村民一人ひとりの日頃からの心がけと行動力が大切であることを再認識しました。

小坂区の防災訓練

8月30日、小坂区自主防災会では、防災計画にもとづいて平成21年度の防災訓練を実施しました。同会では「防災知識の普及」と「防災訓練」を柱に、計画的・積極的に防災事業を展開しています。



その一環として計画・実施された防災訓練は、その内容も例年に増して有効なものとなっていました。

午前8時30分、災害発生模擬告知、それを合図に第一次・第二次避難の実施という基本訓練に加えて、小坂区生涯学習センター(第二次避難所)を会場に集合した区民(約200名)が、諸訓練に取り組みました。

防災会長の小林昭五区長の挨拶の後、松本広域消防局山形消防署の高橋係長を中心とする職員の方の指導のもと、通報訓練・倒壊家屋救助訓練・煙道避難訓練・初期消火訓練など、多彩なプログラムが同時進行で展開されました。殊に煙道訓練や初期消火訓練は、参加した子どもたちの人気メニューとなっていました。

また、当日は全国災害救助犬協会(NPO法人/富山県富山市)から訓練員5名と5匹の犬にも参加してもらい、野村昭一同協会事務局長から災害救助犬による活動紹介と救助犬によるデモンストレーションが披露され、懸命に展開される模擬訓練の様子に、参加した区民から拍手が沸き上がっていました。

さらに、山形村社協から本年7月に配備(貸与)された移動炊飯器を活用して、ハイゼックス(炊飯袋)による炊き出し訓練も行われ、本年参加を呼びかけ増員された小坂区の赤十字奉仕団員が握ったおにぎりを試食してもらうコーナーも設置されていました。

当日は、衆議院選挙の投票日と重なっていましたが、区民による自主的・主体的な活動が求められ、期待される災害時対応の地域防災訓練という視点からも、大変有意義な訓練が展開されていました。





たてべ子どもひろば

みんな元気いっぱい!

8月3日から8月7日までの5日間、建部の里にて第3回「たてべ子どもひろば」を開催しました。

「たてべ子どもひろば」は山形村社会福祉協議会と地域ボランティアで構成される「たてべ子どもひろば実行委員会」が企画しました。地域の方々と一緒に、子どもをみんなで育て、見守



っていく地域づくりを目指して、子どもたちの居場所づくりや、世代、学年を超えた交流を目的としています。

2年目となる「たてべ子どもひろば」ですが、今回は40人を超える参加があり、宿題・ロープ遊び・工作・演奏会・収穫体験・食事作りなど、様々な体験を通し、楽しい夏休みの時間を過ごしました。

8月4日の午後に行われたマイスプーン作りは子どもたちだけでなく、保護者の方からも好評でした。

建部神社で涼みながら、形作られた木のスプーンを子どもたちは熱心に磨いていました。スプーンに丸みがついてくるたびに「見て見て」と嬉しそうに、世界にたった一つだけの自分のスプーンを手にし、とても満足げにニコニコと笑っていました。

自分でモノを作る達成感と、使用する楽しみが味わえるだけでなく、素敵な夏の思い出づくりができたと思います。家に帰ってカレーにデザートに、マイスプーンを手にして頬張る子どもたちの姿が目に見えてきます。ドキドキ、ワクワクが詰まった楽しい体験でした。

真夏の暑さを吹き飛ばす、元気いっぱいな子どもたちと共に過ごした、あっという間の5日間でした。とても充実した活動になりました。

この「たてべ子どもひろば」はボランティアの皆さんの協力があってこそできるイベントですので、今後も多くの地域の皆さんに企画から参加していただき、幅広い活動を行っていきたいと思っています。



平成21年度／山形村社会福祉協議会会費納入結果

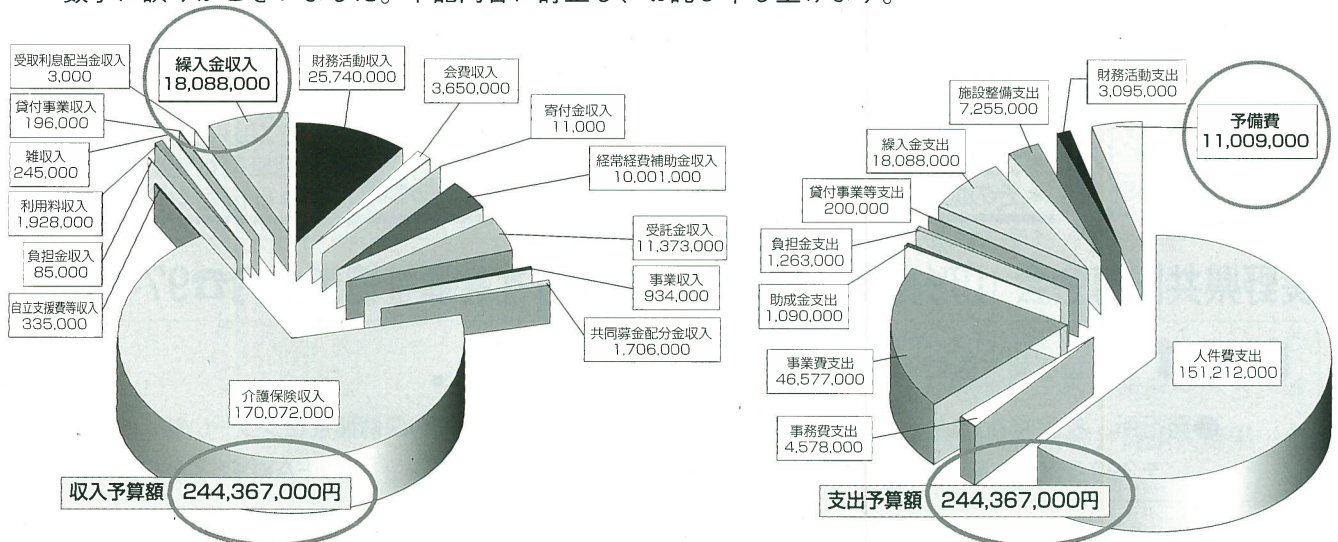
平成21年度の山形村社会福祉協議会普通会費納入につきましては、本年度も大勢の会員の皆様からご協力をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。地域福祉活動推進のために有効に活用させていただきます。

■山形村社会福祉協議会／普通会員会費（1口／1,500円 平成21年8月31日現在）（単位：円）

連絡名	件数	金額	連絡名	件数	金額	連絡名	件数	金額	連絡名	件数	金額	連絡名	件数	金額
豆沢南	17	25,500	橋爪西	11	16,500	青葉台	7	10,500	下北沖	42	63,000	原町	29	43,500
豆沢北	17	25,500	橋爪東	45	67,500	本郷東	30	45,000	上中原	26	39,000	北竹原	20	30,000
青木沢南	15	22,500	下大池下村	20	30,000	南原	1	1,500	中原町	32	48,000	竹田原	24	36,000
青木沢中	4	6,000	中央通	43	64,500	西原	1	1,500	新町	26	39,000	三夜塚	33	49,500
青木沢北	20	30,000	城ヶ沢	23	34,500	四ッ谷中	11	16,500	小坂台	26	39,000	南竹原	26	39,000
中耕地西	16	24,000	西沖	35	52,500	本郷北	7	10,500	下中原	10	15,000	新星	7	10,500
中耕地東	19	28,500	唐沢下	31	46,500	四ッ谷東	7	10,500	第一	25	37,500	若葉	12	18,000
久保	16	24,000	四ッ谷上	34	51,000	本郷西	0	0	美の里ヶ丘	21	31,500	野尻東	13	19,500
堤南	36	54,000	四ッ谷下	38	57,000	山口	22	33,000	唐沢上	17	25,500	野尻西	21	31,500
堤北	32	48,000	原村上	26	39,000	大日	16	24,000	神明	35	52,500	清水高原	3	4,500
淀の内	38	57,000	原村東	17	25,500	日向	27	40,500	荒川	32	48,000	梨の木	20	30,000
上手西	20	30,000	宮村	27	40,500	堂村上	17	25,500	上手村	27	40,500	中竹原	2	3,000
上手東	15	22,500	殿村	29	43,500	堂村下	11	16,500	西下	17	25,500	連絡班外	1	1,500
野際	26	39,000	中耕地	29	43,500	清水	11	16,500	北村	18	27,000			
中大池中村	39	58,500	上竹田中村	35	52,500	本殿上	21	31,500	南中	32	48,000			
中大池下村	28	42,000	御判形	45	67,500	本殿下	16	24,000	北中	20	30,000			
下村東	30	45,000	下本郷	49	73,500	東殿	15	22,500	南堀	35	52,500			
野際東	12	18,000	新和	24	36,000	上北沖	18	27,000	北堀	20	30,000			
仲町	26	39,000	四ッ谷西	9	13,500	中北沖	23	34,500	竹原	32	48,000	総合計	1,961	2,941,500

お詫びと訂正

『まほろば』第44号掲載の「平成21年度 山形村社会福祉協議会一般会計収入支出予算の概要」の数字に誤りがございました。下記内容に訂正し、お詫び申し上げます。



平成21年度 赤い羽根・歳末助け合い 共同募金運動にご協力ください



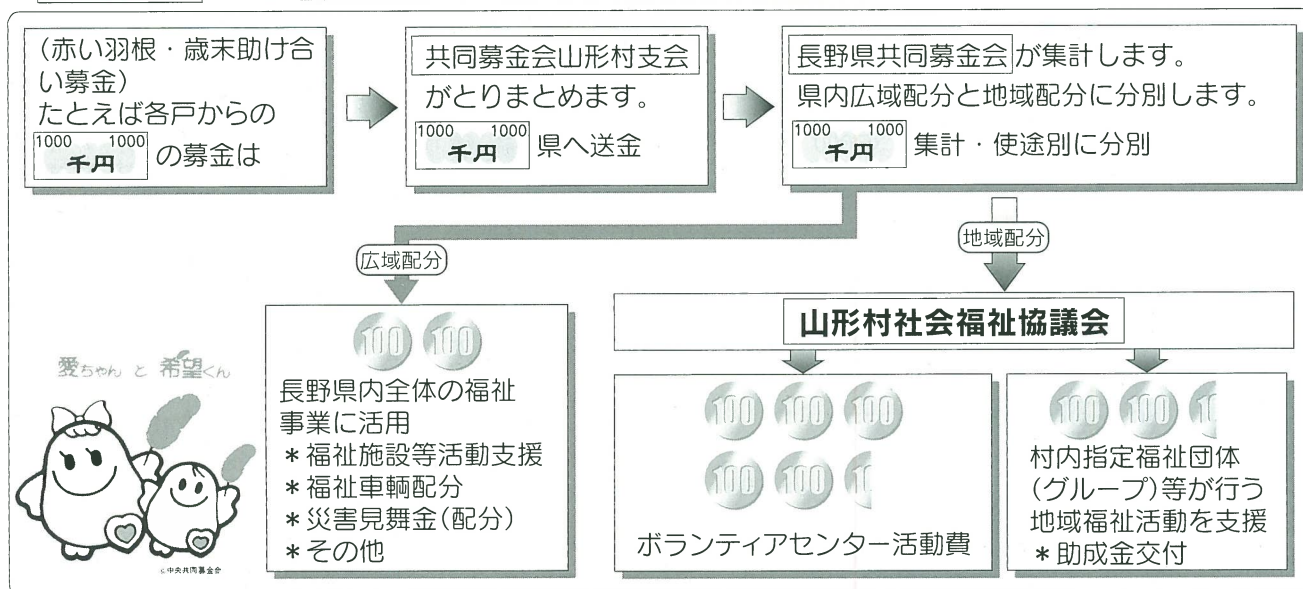
——— 皆さんからの共同募金が地域福祉を支えます ———

少子高齢社会の今日、地域で安心して生活していくためには、さまざまな福祉サービスが必要です。そのため地域福祉の推進を目的とする社会福祉協議会や民間の社会福祉団体や施設、またボランティア団体等によって、多彩な福祉活動が展開されています。

皆さんからの共同募金は、こうした活動の支援のため役立てられます。

平成21年度共同募金運動の実施期間（山形村支会の場合）
平成21年10月1日から10月31日まで

- * 山形村支会の平成21年度目標額は、1,960,000円です。
- * 各連絡班ごとに集金いただき **戸別募金** をはじめ、**学校募金**、**職域募金**、**村内店舗募金(箱)** 等により、皆さんの温かいご協力をお願いします。
- * **戸別募金** の例 戸別の募金として、1戸から1,000円の協力をいただいた場合の募金の流れ(イメージ)



長野県共同募金会 山形村支会(事務局) 山形村社会福祉協議会内 ☎97-2102)

まほろば (社協広報/第45号) 平成21年9月24日発行

●発行所 社会福祉法人 **山形村社会福祉協議会** (山形村保健福祉センターいちいの里内)
〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村4520番地の1 ☎0263 (97) 2102 FAX0263 (97) 2108

●●● 屋外テントなど災害時用備品の貸与



山形村社会福祉協議会では、村内各区に設置された防災用格納庫（防災倉庫）に配備する防災資機材として災害時用備品を整備し、各区に貸与する事業を実施しています。社会福祉協議会が貸与する災害時用備品は屋外テントと移動炊飯器であり、災害時活動はもとより平常時から使用方法を学ぶ機会として防災活動はじめ地域のふれあい行事等にも活用いただき、有事に備えていただこうというものです。



既に前年度において移動炊飯器が村内2地区に配備（貸与）されていますが、去る7月20日に、屋外テント6張（村内6地区）と移動炊飯器1器（村内1地区）が追加配備（貸与）されました。

屋外テントの天幕の部分には、各区ごとに別々の「福祉啓発標語」が記載され、地域のふれあい行事等に使用しやすい配慮がほどこされています。

当日、いちいの里において同備品の使用説明会と伝達式が開催され、当日集まった各区関係者からは、自主防災会の活動や区民のふれあい行事などに有効に活用したいとの声があがっていました。

各地区での防災訓練の様子



区全体で集合：中大池



消火訓練の様子：中大池



テントの組み立て訓練：下大池



防災備品の学習会：下大池



一時避難所へ集合：下竹田

今後も各区の自主防災への取り組みについてとりあげていく予定です。